

Helios Techno



ヘリオス
テクノホールディング

2009年3月期決算発表

フューチャークラウド

フューチャー
ルクス

日本取引センター

Helios Techno

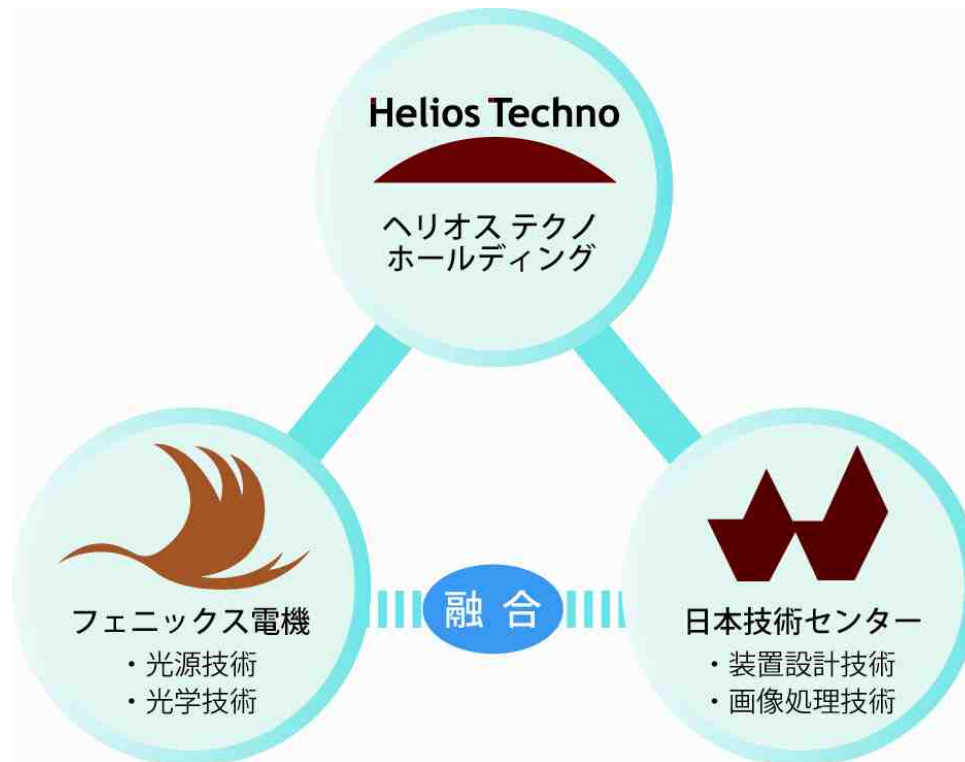


ヘリオス テクノ ホールディング株式会社

経営統合

新たな進化へ

フェニックス電機(株)は(株)日本技術センターとの経営統合により商号をヘリオス テクノホールディング(株)に変更し、分社型新設分割により新たに設立したフェニックス電機(株)に事業を承継することにより持株会社体制へ移行いたしました。



4月	商号をフェニックス電機(株)よりヘリオス テクノ ホールディング(株)へ変更
	新設分割により商号をフェニックス電機(株)とした新設会社を設立し事業を承継
5月	(株)日本技術センターの株式を一部取得
	株式交換により(株)日本技術センターの株式(一部取得後の残り)を取得
	(株)日本技術センターを完全子会社化

経営統合(会社概要 '09年4月現在)

商号	ヘリオス テクノ ホールディング株式会社 (2009年4月1日 フェニックス電機株より商号変更)
設立	1976年10月5日
資本金	2,133百万円
発行株式数	22,806,900株
役員	取締役会長 齊藤 定一 代表取締役社長 田原 廣哉



商号	フェニックス電機株式会社
設立	2009年4月7日
資本金	90百万円
発行株式数	9,000株
役員	代表取締役 田原 廣哉
従業員数	349名(臨時従業員含む)
事業内容	プロジェクター／ランプ方式リヤプロ TV用ランプおよび、ハロゲンランプ 等の製造販売

商号	日本技術センター株式会社
設立	1967年5月6日
資本金	64百万円
発行株式数	48,728株
役員	代表取締役 竹中 隆
従業員数	190名
事業内容	エンジニアリング事業 設計請負事業 技術者派遣事業

経営統合

経営統合の背景・目的

フェニックス電機と日本技術センターは、両社の保有する経営資源を相互補完的に活用することにより、経営基盤の更なる強化を行い、シナジー効果の創出と成長の加速化を通じて事業の拡大並びに株主価値の創出を目指します

Helios Techno



経営統合

(シナジー効果)

1) 光源と装置の協業による新たな事業の創出

- ◆フェニックス電機のもつ光源・光学技術と日本技術センターのもつ装置設計技術、画像処理技術の融合により、両者がもつ装置事業を飛躍的に拡大できる可能性
- ◆市場が要求する光源が明確化され、光源開発製造事業の経営基盤が強固となる

2) 顧客接点の補完関係

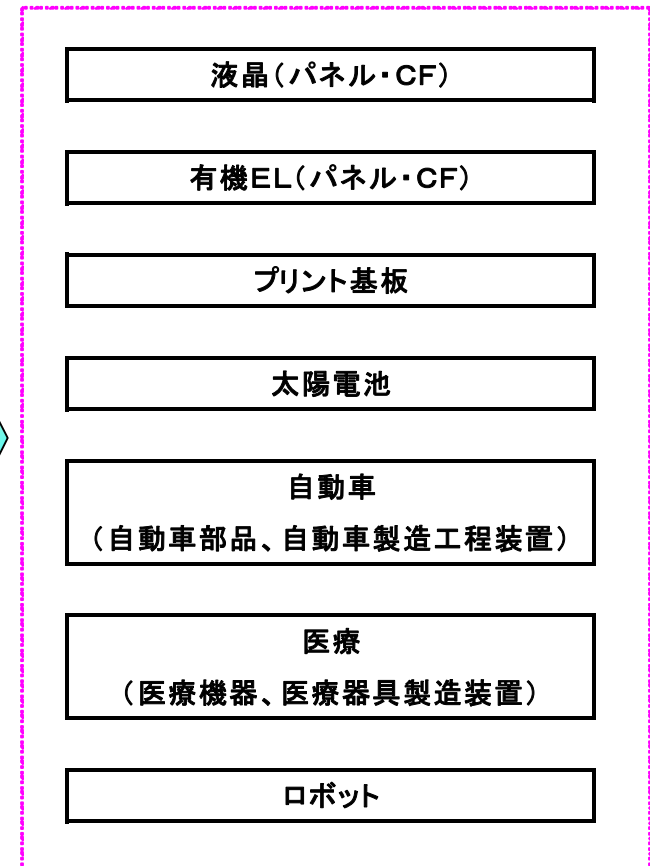
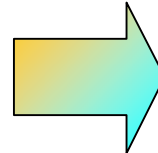
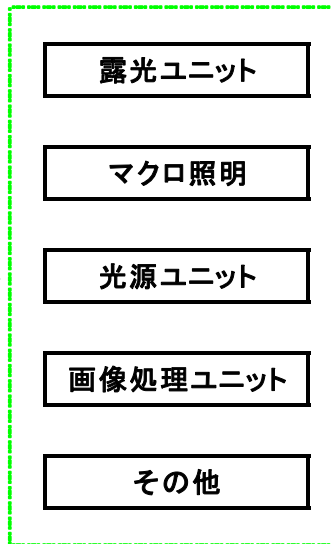
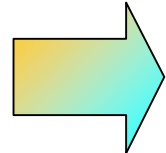
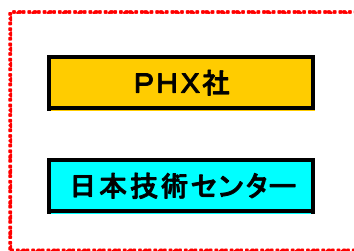
- ◆両者のもつ顧客基盤、ノウハウ、各種情報の共有化、製品ラインアップの強化によりクロスセリング及びソリューションの提案が可能

3) 経営の効率化によるコスト削減

- ◆人的資源の有効活用、適正配置、並びに各種システムの統合により、経営の効率化、コスト削減が可能

経営統合

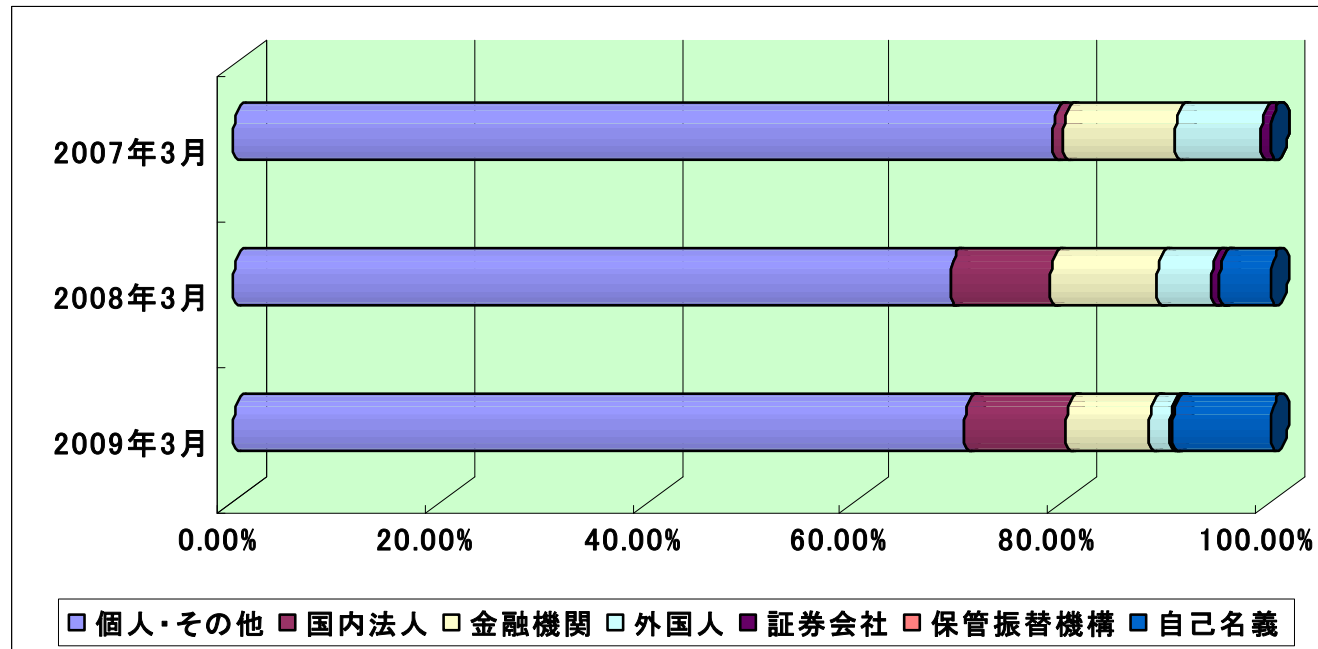
ビジネスモデル



マクロ検査装置
(目視観察装置)

株主分布状況('09年 3月31日現在)

株主構成(所有株数別)の推移



株主数推移	
2007年3月	28,667人
2008年3月	27,646人
2009年3月	27,353人

	個人・その他	国内法人	金融機関	外国人	証券会社	保管振替機構	自己名義
2007年3月	79.11%	0.85%	10.93%	8.21%	0.90%	0.00%	0.00%
2008年3月	69.17%	9.63%	10.35%	5.21%	0.68%	0.01%	4.95%
2009年3月	70.60%	9.62%	8.06%	1.98%	0.41%	0.00%	9.33%

大株主の状況(3月31日現在)

株主数 27,353名

発行済株式数 22,806,900株

フェニックス電機(株)は4月1日に商号変更により
ヘリオス テクノ ホールディング(株)となっております。

	大株主名	2008年9月期	
		所有株数	持株比率 (%)
1	中村 雅哉	4,350,000	19.07
2	フェニックス電機株式会社	2,128,476	9.33
3	株式会社マル(代表取締役 中村 雅哉)	2,000,000	8.76
4	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	673,400	2.95
5	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	256,100	1.12
6	株式会社三菱東京UFJ銀行	225,000	0.98
7	中央三井信託銀行株式会社	222,000	0.97
8	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	181,300	0.79
9	CBHK-KGI ASIA LIMITED-SEGREGATED ACCOUNT	160,200	0.70
10	フェニックス電機従業員持株会	76,059	0.33
	その他	12,534,365	55.0

’09年3月期実績

Helios Techno



'09年3月期実績(連結)

(単位:百万円)	前年実績	計 画	業績修正	実 績
売上高	9,005	7,909	6,123	6,113
営業利益	972	591	△ 193	△ 240
営業利益率	(10.8%)	(7.5%)	(△ 3.2%)	(△ 3.9%)
経常利益	787	622	△ 211	△ 237
経常利益率	(8.7%)	(7.9%)	(△ 3.4%)	(△ 3.9%)
当期純利益	361	351	△ 916	△ 947
当期純利益率	(4.0%)	(4.4%)	(△ 15.0%)	(△ 15.5%)

1株当り当期純利益(円)	16.25	16.20	△ 42.25	△ 43.97
--------------	-------	-------	---------	---------

注) 計画は、平成20年5月15日発表値。

業績修正は、平成21年3月27日発表値

'09年3月期実績(個別)

(単位:百万円)	前年実績	計 画	業績修正	実 績
売上高	8,001	7,909	5,316	5,307
営業利益	920	591	△ 243	△ 293
営業利益率	(11.5%)	(7.5%)	(△ 4.6%)	(△ 5.5%)
経常利益	745	622	△ 253	△ 282
経常利益率	(9.3%)	(7.9%)	(△ 4.8%)	(△ 5.3%)
当期純利益	412	351	△ 941	△ 974
当期純利益率	(5.1%)	(4.4%)	(△ 17.7%)	(△ 18.4%)

1株当り当期純利益(円)	18.54	16.20	△ 43.41	△ 45.18
--------------	-------	-------	---------	---------

注) 計画は、平成20年5月15日発表値。

業績修正は、平成21年3月27日発表値

SHP売上実績(連結)

(単位:百万円)	前年実績	計 画	実 績	前年比(%)	計画比(%)
プロジェクター用ランプ	5,718	4,813	3,652	63.9%	75.9%
(本数;千本)	(1,075)	(1,119)	(807)	75.1%	72.1%
リヤプロTV用ランプ	986	794	519	52.6%	65.4%
(本数;千本)	(221)	(152)	(90)	40.7%	59.2%
SHP合計	6,704	5,607	4,171	62.2%	74.4%
(本数;千本)	(1,296)	(1,271)	(897)	69.2%	70.6%

注) 計画は、平成20年5月15日発表値。

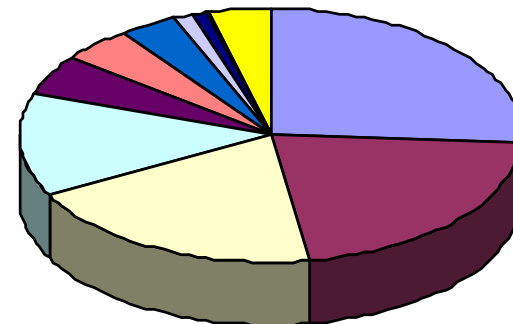
SHP主要顧客推移

'08/3月期実績



■ C社 ■ S社 ■ T社 ■ I社 ■ D社 ■ SA社
■ K社 ■ M社 ■ E社 ■ A社 ■ その他

'09/3月期実績



■ C社 ■ S社 ■ T社 ■ I社 ■ D社 ■ SA社
■ K社 ■ M社 ■ E社 ■ A社 ■ その他

	C社	S社	T社	I社	D社	SA社	K社	M社	E社	A社	その他
07/9月期	14.97%	19.15%	33.39%	27.84%	1.44%	0.17%	0.01%	1.44%	0.00%	0.00%	1.60%
08/9月期	25.85%	21.54%	19.90%	12.91%	5.44%	4.33%	3.77%	1.21%	0.84%	0.40%	3.83%

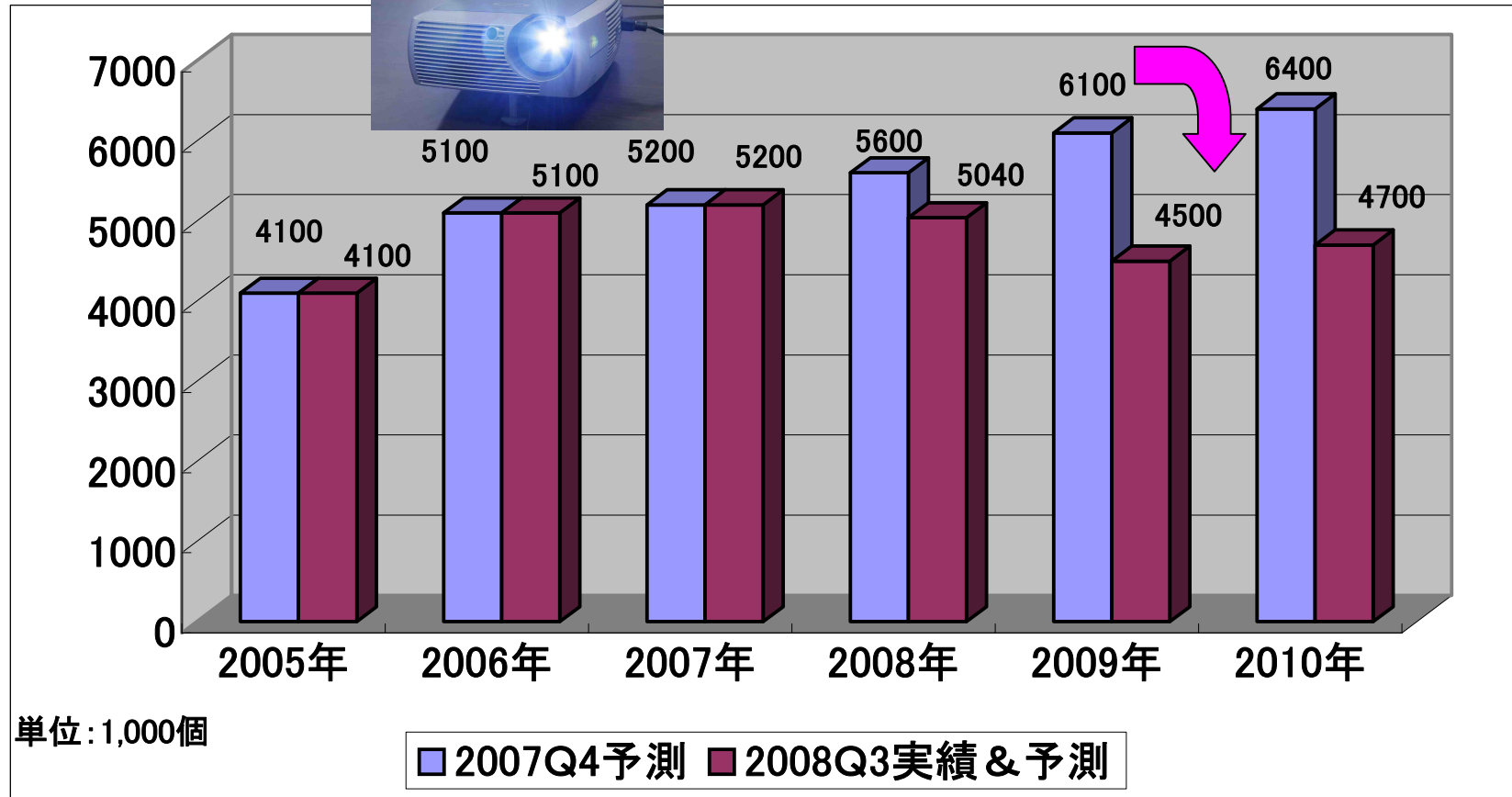
市場の予測

Helios Techno



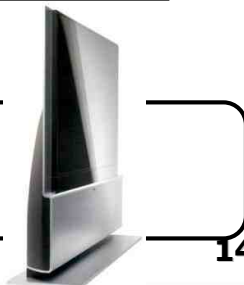
プロジェクター／リアプロTV市場の予測

プロジェクター市場



リアプロTV市場

リアプロTV市場は今後メーカー各社の撤退により、リプレイスランプのみの生産・販売となります



' 10年3月期見通し

Helios Techno



'10年3月期通期見通し(連結)

(単位:百万円)	前年実績 為替 1\$=100.54円	計画 為替 1\$=95.00円	前年比(%)
売上高	6,113	8,969	146.7%
売上総利益	2,989	1,875	62.7%
売上総利益率	(48.9%)	(20.9%)	(42.7%)
営業利益	△ 240	△ 23	—
営業利益率	(△ 3.9%)	(△ 0.3%)	—
経常利益	△ 237	△ 32	—
経常利益率	(△ 3.9%)	(△ 0.4%)	—
当期純利益	△ 947	△ 85	—
当期純利益率	(△ 15.5%)	(△ 0.9%)	—
1株当り 当期純利益(円)	△ 43.97	△ 3.90	—

前期為替レート対比当期売上影響額 111百万円

製品開発

Helios Techno



ハロゲン代替LEDミラー付ランプ商品化

Rleds (LEDリフレクターランプ) の特徴

特徴 : 省エネ: ハロゲン電球 (20W相当) に比べ消費電力は
約1/7以下

長寿命: 30,000時間 (1日12時間使用で約6.8年)

ハロゲン電球の10倍長持ち

高照度: 世界最高水準の明るさ (同一電力比)

美配光: 特殊光学設計により、迷光 (照射面以外に散る
むだな光) が少ないきれいな配光を実現

低い初期投資: 従来の器具一体型LEDと違い、ランプ交換
のみで、省エネを実現

ハロゲン代替LEDミラー付ランプ商品化

Rledsの特徴

φ50LEDランプの構造

当社独自の光学設計を駆使した 新型LEDランプ



迷光が少ないキレイな配光

一般的なLEDランプ



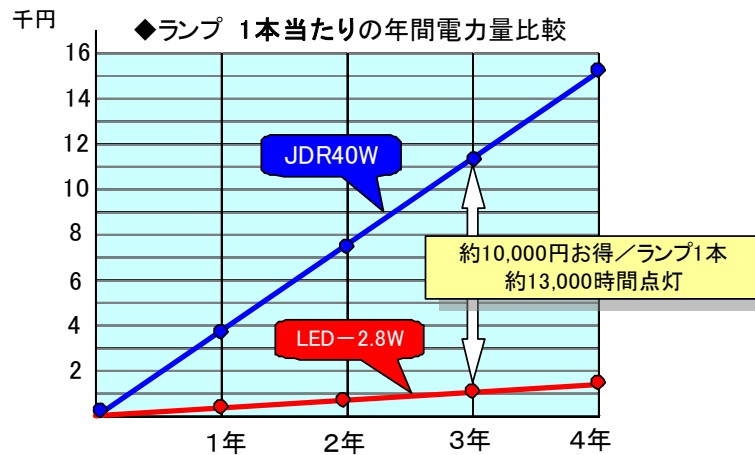
必要照射面以外に迷光が多い

ハロゲン代替LEDミラー付ランプ商品化

◆ ダイクロハロゲン電球をRledsに置換えればコストパフォーマンスで優位

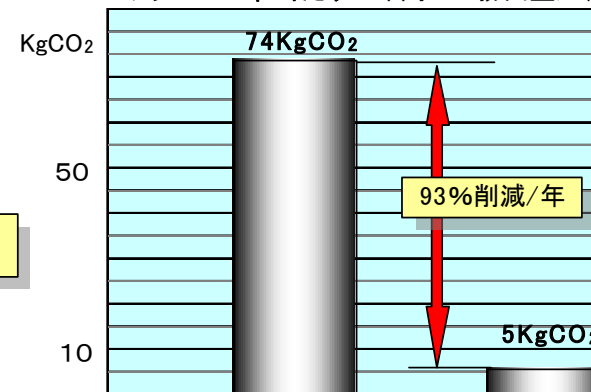
φ50-2.8Wタイプ電気代の比較

12時間/日点灯



CO₂排出量の比較

◆ランプ 1本当たりの年間CO₂排出量比較



電源内蔵タイプ φ50-100Vタイプ



電源内蔵タイプ φ70-100Vタイプ

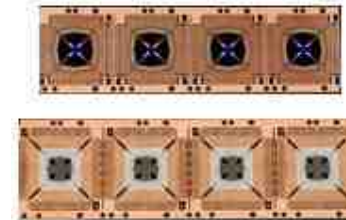


多種多様の露光装置完成

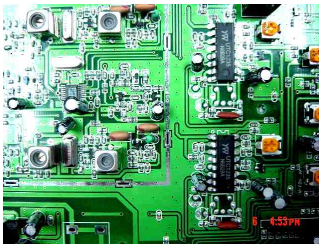
液晶カラーフィルター用露光装置



リードフレーム用露光装置



プリント基板用露光装置



TAB用露光装置

LED用露光装置

UV接着剤硬化用露光装置



今後の事業展開

Helios Techno



今後の事業展開

- ◆ 光源開発製造事業、装置開発製造事業のポートフォリオの最適化を図り各分野の競争力、収益力の更なる強化を行います
- ◆ 光源・光学技術と装置設計技術、画像処理技術の融合を図り装置事業の飛躍的发展に貢献する
- ◆ グループ会社の連携によるコスト対応力の強化
- ◆ 高性能（長寿命、高輝度）、高信頼性、環境に配慮し、顧客ニーズを先取りしたランプの開発
- ◆ 新規事業（露光装置用光源ユニット、ミラー付LEDランプ）、液晶分野における新たな事業展開